

令和7年4月1日

令和7年度 府中市立本宿小学校 学校経営方針

校長 藤咲孝臣

1. はじめに

○東京都の教育目標

○府中市の基本理念 (第3次府中市学校教育プラン(令和4年～令和12年)より)

「全ての子どもが、人格の完成に向け、ふるさと府中に誇りを持ち、知性や感性を磨き、豊かな人間性を備え、心身ともに健康に成長していくために教育委員会、学校、家庭、地域、関係諸機関が相互に連携、協力、役割分担、支援しながら子どもたちの成長を担っていきます。」

2. 本校の教育目標

心身ともに健康で、知性と感性にとみ、自ら学ぶ実践力をもつグローバルに活躍する人間性豊かな児童「輝きのある子」の育成を目指す。

◎「自分の考えをもち、やりぬく子ども」→チャレンジする心 あきらめない心 折れない心 粘り強さ
自ら主体的に考え、課題意識をもち、問題を粘り強く解決していく能力や態度を育成する。
(問題解決力)

○「豊かな心をもち、仲良く助け合う子ども」→自他の理解と尊重(他者意識)(人間関係形成力)
人権を尊重し、公共の精神を貴び、お互いを認め励まし合う温かな心や他人を思いやる心を育成する。

○「健康安全に気を付け、体をきたえる子ども」→丈夫な体から丈夫な心へ(健康な心と体)
自他の生命を尊重し自ら健康を保ち、体力づくりに取り組む態度と実践力を育成する。
「しなやかさ」「ねばりづよさ」「がまんづよさ」を育む

3. 目指す学校像

創立56年目(55周年)として、これまでのよき伝統を受け継ぎながら、ふるさと府中に誇りを持ち、世界で活躍できる府中っ子を育てる。保護者、地域の信頼に応え、教育目標である「輝きのある子」の育成を目指す。

(1) 子どもが第一の学校づくり → 学校が楽しい、明日も来たくなる学校

◎学ぶ楽しさ、分かる喜びを実感できる。 ◎自分のよさや存在価値に気付かせる。

◎子どもたち一人一人に勇気や希望を与え、挑戦する意欲や価値に気付かせ、よさや可能性を引き出す。
→本宿小の子どもたち一人一人を教職員全員で見守り、励まし、育てていく。

①安心、安全な学校：学校は、子どもたちに安心感をもたらす場。

○災害、事故防止のための教職員による確実な対応→実効性のある安全指導 気づいたら行動へ

○子どもに安心感をもたらす学校経営→良好な子どもと教師の関係、子ども同士の関係、集団の関係づくり

○学校は失敗してもいい、間違ってもいい所→失敗からの学びを大切に チャレンジすることに価値

②心の温かい学校：学校は、子どもたちが、自分自身を認め、相手を認め、成功や失敗が認められる場

○「あいさつ」と「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」・正しい言葉を使う(言語環境の充実)

○いじめの防止、助け合いと思いやりの心を育む→道徳教育 人権尊重教育 いじめ防止教育の推進

○他者理解、自他の尊重の心を育てる→一人一人を認め、協力できる関係(毎年のクラス替え)

③一人一人のよさや可能性を引き出す学校：学校は、子供たちに夢を提供する場

- 目標をもたせる 夢を語る → 多様な行事、体験的な学習、GT からの学び（キャリア教育）
- 「自分もやれば可以的」「自分にはこんな力がある」などを子どもたち一人一人に意識させ実感させる学習や行事の推進 → 達成感や自尊感情をもたせ、自己肯定感、自己有用感を育む（特別活動）
- 学習の保障 → 学力の確実な定着 問題解決型の学習 本宿スタイル（主体的な学び・学び合い）
- 力を引き出すための多様な場の設定 → ICT の活用 授業形態の工夫 （個別最適化の学び）
- グローバルに活躍できる子供の育成 → 3Week の充実により、英語などを活用したコミュニケーションの力を高める。（発信・対話の重視） 自他の文化への興味・関心・理解。地域・府中市を知る。

④たくましく自立を目指す学校：学校は、子供の心身を鍛え、人間として広げ深める場

- 体力の向上 → 外遊びの推進により運動の習慣化・日常化を図る。（週 1 回のクラス遊び 運動週間）
- 折れない心、しなやかな心、強さと柔軟さ → 様々な課題を乗り越える力の育成
- 基本的な生活習慣、学習規律、3つの「あ」（挨拶、安全、後始末）と「返事」の定着を図る。

（2）教職員が学び合い磨き合う学校づくり → 「チーム本宿」として教職員も輝く学校

①教職員一人一人が自覚をもつ。

- 社会人として、公務員として、教員（教育公務員）としての自覚を常に念頭に置き、教育活動に真摯に取り組む → 法令遵守 服務事故を起こさない意識と環境 職務への責任と誇りをもつ
- 組織人としてのふるまい → 報告・連絡・相談・記録の徹底（研修・出張後の報告など）
- 教育公務員・教員として → 学習指導要領及び教育課程に則った指導の実施

②教職員が互いに協働する

- 教職員がそれぞれのよさやもち味を生かして、教育活動にあたる。→ 授業交換 合同授業の実施
- 組織として共通の目標に向かい、意図的計画的に教育活動を推進させる。→ 学年会 週計画の作成
- 組織として優先順位を意識する。→ 府中市・学校・学年・学級（自分）

③教職員が互いに磨き合う

- 授業改善や指導力向上に向けて、自己研鑽に励む。→ 分かる・楽しい授業実現のための授業力の向上
- 研修と修養に努め、自身の資質・能力の向上を図る。→ 校内研究 府教研 各種研修 授業参観

（3）保護者・地域と協力・協働・連携する学校 → 保護者・地域とともに子供を育む

- 学校は保護者からの信託を受けている場である。また、学校は地域の核であり、地域の歴史の中にある。地域の人々の生き方が根付いている。→ 保護者・地域の理解と信頼関係が大切である。

①保護者・地域に広げる

- 学校の教育活動を、家庭や地域に広げ、児童が社会で活躍できる実践的な力を高める。
→ あいさつ、安全（健全育成、防犯、防災）、PTA 活動など （学校便り、学校 HP で周知）

②保護者・地域から学ぶ

- 保護者・地域の方から学ぶ → GT など学習や行事での保護者や地域人材の活用、授業参画
- 歴史的・文化的施設や地域行事から学ぶ → 校外学習など地域環境や地域資源の活用

③保護者・地域とつながる。

- 地域行事に参加する。地域活動に貢献する。施設を地域に開放する。→ お祭り イベント 運動